

科目名(英文名)	ナンバリング	単位数	年次	期間	担当者
審査審判対応演習／特許権取得実務Ⅱ【MR】 (Patent Prosecution Practice/Patent Prosecution II)	MPCB22/ MPCB06	2	1年次	前期	小林 昭寛(コバヤシ アキヒロ)

授業のねらい概要	<p>知財専門家にとって最も必要とされる実務能力の一つである特許権の取得実務について学ぶことをねらいとする。授業の方法としては、分かりやすい事例を12件程度取り上げて討議と解説をすることにより、新規性、進歩性、拡大先願(特29条の2)、記載要件などの特許実務の実際を学び、現場において必要とされる実務能力を習得する。</p> <p>具体的な進め方としては、各事案ごとに担当グループを決め、準備、発表、全体討議、質疑応答などを行う演習形式とする。各事案について審査・審判・裁判の判断過程や結論を分析・検討することにより、実際の特許実務や判断の相場観を学ぶ。</p> <p>なお、使用する事例は、理工系の知識を持たない受講者でも容易に理解できる技術的に平易なものを精選している。技術の内容を学ぶのではなく、特許の実務を学ぶためである。</p>
----------	---

授業計画(授業のスケジュール)	回数	テーマ	授業の内容・教育方法	予習/復習
	第1回	ガイダンス	授業の進め方の説明、事例資料の配布など	授業時に指示する。(4時間)
	第2回	特許要件の判断実務の解説	事例を理解するために必要な特許要件の判断実務について説明する	授業時に指示する。(4時間)
	第3回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第4回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第5回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第6回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第7回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第8回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第9回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第10回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第11回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第12回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第13回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第14回	事例演習	上記の授業概要についての記載を参照	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第15回	まとめ	事例を振り返りつつ、新規性・進歩性・拡大先願・記載要件などの判断実務について復習する。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)

到達目標	<p>(1)本講義における簡易な実案件に関し、特許要件の判断実務の基本的な事項を説明することができる。</p> <p>(2)本講義における実案件の疑似体験に基づいて、より複雑な事案に対して新規性、進歩性、拡大先願、記載要件などを独力で適用できる。</p>
評価方法	成績評価は、グループ発表の内容(20%)、討議における意見陳述の内容(20%)、及び最終課題レポートの内容(60%)に基づいて行う。
成績評価基準	<p>到達目標(1)に明らかに到達していない場合は、本科目の単位を取得できない(欠格条件)。</p> <p>平常点及びレポートの内容に基づき、下記の基準にしたがって5段階評価する。</p> <p>A:到達目標(1)および(2)について、特に優れた成績で達成している。</p> <p>B:到達目標(1)および(2)について、優れた成績で達成している。</p> <p>C:到達目標(1)および(2)について、概ね適切な成績で達成している。</p> <p>D:到達目標項目(1)および(2)について、合格に必要な最低限度を満たして達成している。</p> <p>F:上記以外</p>

教科書			参考書		
書名	著者名	出版社名	書名	著者名	出版社名
事例の資料を事前配布し、教員の解説資料を当日配布する。			特許・実用新案 審査基準	特許庁編	特許庁HPより入手可能

受講心得	<ul style="list-style-type: none"> ●数名からなるグループ単位で輪番で各事案を担当するため、グループのメンバーどうしで事前準備や当日発表に相互協力すること。 ●レポート課題において誤解や不正解が多かった点については、コミュレポにて解説するので各自確認し、理解を深めること。 ●この授業はメディア授業対応です。
------	--

オフィスアワー	担当する講義・ゼミ等の時間を除き、原則として月曜日～土曜日の午後13時30分～18時の時間帯に研究室で対応する。
---------	--